

## 全身麻酔器一式の更新 仕様書

### A 調達物品の内訳

1. 麻酔器本体	一式
2. 麻酔ガスモニタ	一式
3. 気化器（セボフルラン用）	一式
4. 気化器（デスフルラン用）	一式
5. フィリングアダプタ（セボフルラン用）	一式
6. 余剰ガス排出装置	一式
7. 耐圧ホース 5m（O2, Air, N2O）	各一式
8. 部門システム搭載マウント	一式
9. 生体情報モニタ 接続モジュール	一式
10. アーム式シーリングサプライユニット	一式
11. 麻酔器連結用ブラケット	一式
12. スマートポンプ（TCI） TE-SS835T	二式

### B 基本的要件

1. 当センターにおいて、業務に滞りなく使用可能であること。
2. 調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という）の要求要件（以下「技術的要件」という）は、下記Cに示す通りである。
3. 搬入・据付条件
  - 3-1 物品の搬入は協議の上、当センターが指定した日時並びに方法により行うこと。
  - 3-2 搬入先は当センター手術室とする。
  - 3-3 搬入にあたっては、患者の安全及びプライバシーに十分に注意し作業すること。
4. 物品の調整、稼働準備
  - 4-1 本物品が有効に稼働するために必要な調整について、納入者の負担により責任をもって行うこと。
  - 4-2 本物品導入の際には、納品時の最新バージョンのものとする。
  - 4-3 本物品を使用する者に対し、導入時、医師を含む使用が想定される職員に対して、安全使用講習を行い、安全運用及び保守に必要な知識の説明及び指導を図った場合、説明を行った後に講習日・講習参加者名・講習内容を記載したリストを当センター医療安全推進室及び経営企画課に提出すること。
  - 4-4 本物品の添付文書と取扱説明書を当センター麻酔科医及び経営企画課に提出すること。
  - 4-5 入札物品は納入後においても、安定稼働が確保されていること。
5. 保守点検体制

- 5-1 検収後1年間、機器に発生した故障は、無償で保証すること。
- 5-2 本物品に必要な消耗品及び故障等の修繕に必要な部品について供給が確保されていること。
- 5-3 障害時において、復旧のために迅速な対応ができること。

## C 技術的条件

### 1. 麻酔器本体

- 1-1 フレッシュガスは、総流量および酸素濃度を設定する電子ミキサー方式であること。
- 1-2 気道内圧波形、フロー波形、麻酔薬濃度波形、CO2波形、酸素濃度波形より、任意の4波形を選択表示することが可能であること。
- 1-3 1分間隔のログブック機能を有し、症例毎に医療ガス・麻酔ガス等の消費量を表示可能であり、アラームやイベントの記録表示が可能であること。
- 1-4 駆動用ガスを使用しない電気駆動式人工呼吸器であること。
- 1-5 強制換気モードは、VCV・PCV、自発呼吸モードとしてCPAP/PSを搭載し、すべての強制換気モードでSIMVやPSを併用することが可能であること。
- 1-6 1回換気量は、5～1,500mlの範囲で設定が可能であること。
- 1-7 プリセットされた条件により、肺リクルートメントを実施することが可能であること。
- 1-8 呼吸回路システム内の結露を防止するため、加温機能を有すること。

### 2. 麻酔ガスモニタ

- 2-1 麻酔ガスモニタは本体内蔵タイプであり、換気情報とあわせて1画面で表示することが可能であること。

### 3及び4. 気化器

- 3-1、4-1 麻酔薬濃度はセボフルランで0～8%、デスフルランで0～18%の範囲で設定可能であること。

### 8. 生体情報モニタ 接続モジュール

- 8-1 生体情報モニタとの接続が可能であること。

### 9. アーム式シーリングサブライユニット

- 9-1 天吊式アームシステムにより、医療ガス/電源/情報端子等の供給と周辺機器の搭載が可能であること。

### 10. 麻酔器連結用ブラケット

- 10-1 麻酔器とシーリングペンダントを同時に操作することが可能であること。

#### D その他

1. 仕様書の表現を独自の判断で解釈することなく、必ず当センターに確認すること。
2. 本仕様書について、疑義が生じたときは、当センターの指示を受けること。
3. 仕様書に明記されていない事項でも、技術上、機能上又は保守管理上必要なものが発生した場合は、事前に当センターと協議した後に滞りなく具備すること。
4. 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、当センター機種等選定会議で承認された入札機器にかかわる仕様書の内容をもとに審査するものである。